

## M7CL V2.0 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、M7CLファームウェアV2.0で追加/変更された機能を中心に説明します。M7CL V1.1 追補マニュアルおよびM7CL取扱説明書と併せてご利用ください。

また、ヘルプファイルの最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

### 主な変更点

#### ■ インプットチャンネル系の操作

- ・ トップパネルのフェーダーを使って、インプット系チャンネルからMATRIXバスへのセンドレベルも調整できるようになりました(2ページ)。
- ・ SENDS ON FADERモードのとき、送り先のMATRIXバスは、ナビゲーションキーの[MATRIX]キーを押してからCentralogicセクションの[SEL]キーを押すことでも選択できるようになりました(2ページ)。
- ・ チャンネルの各種パラメーターを一括してチャンネルライブラリーとして本体メモリーに保存できるようになりました(2ページ)。

#### ■ アウトプットチャンネル系の操作

- ・ チャンネルの各種パラメーターを一括してチャンネルライブラリーとして本体メモリーに保存できるようになりました(2ページ)。

#### ■ 入出力のパッチング

- ・ インサート、ダイレクト出力の位置としてPOST ON(フェーダーと[ON]キーの直後)を選択できるようになりました(3ページ)。
- ・ GEQインサート設定/解除時に、インサートが自動でオン/オフされるようになりました(3ページ)。

#### ■ EQ/ダイナミクス

- ・ インプット系チャンネルのGATEのスレッシュホールドレベル最小値が-72dBまで設定できるようになりました(3ページ)。

#### ■ グルーピング/リンク

- ・ チャンネルリンクを設定すると、HAゲインとフェーダーの操作は、チャンネル間でレベル差を保ったまま連動するようになりました(4ページ)。

#### ■ シーンメモリー

- ・ グローバルペースト機能により複数のシーンにまたがったパラメーターを簡単に変更できるようになりました(5ページ)。
- ・ アッテネーターのリコールセーフをEQから独立して選択できるようになりました(6ページ)。

#### ■ モニター/キュー

- ・ モニター出力レベルコントロールにモニターフェーダーが追加され、STEREO MASTERフェーダー/MONO MASTERフェーダーを使用してレベルを操作できるようになりました(4ページ)。

#### ■ ユーザー設定

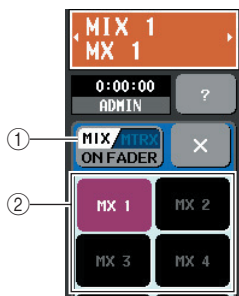
- ・ M7CL V2 Editorでは、本体と同様にユーザー定義キーの設定ができるようになりました(6ページ)。
- ・ ユーザー定義キーへ割り当て可能な機能が追加されました(6ページ)。
- ・ 作成したデータの互換性について(6ページ)。

## フェーダーを使ってMATRIXバスへの センドレベルを調整 (MATRIX ON FADERモード)

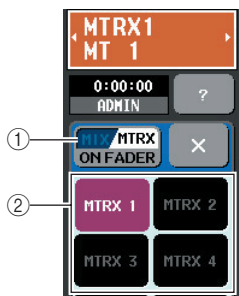
トップパネルのフェーダーを使って、インプット系チャンネルからMIXバスだけでなく、MATRIXバスへのセンドレベルも調整できるようになりました。

SENDS ON FADERモード時に、MIX/MTRX ON FADERボタンで送り先としてMIXバスまたはMATRIXバスを切り替えられるようになりました。

### [MIX ON FADERモードON時]



### [MATRIX ON FADERモードON時]



#### ① MIX/MTRX ON FADER切り替えボタン

このボタンを押すたびにMIX ON FADERモードとMATRIX ON FADERモードを切り替えます。

#### ② MIX/MATRIXバス選択ボタン

送り先としてMIXバスまたはMATRIXバスを切り替えるボタンです。ステレオに設定されている2系統のバスは、ひとつのボタンで表示されます。

## Centralogicセクションの [SEL] キーでMATRIXバス選択

SENDS ON FADERモードのとき、送り先のMATRIXバスは、ナビゲーションキーの[MATRIX]キーを押してからCentralogicセクションの[SEL]キーを押すことでも選択できるようになりました。

## インプット/アウトプットチャンネル ライブラリー対応

従来はEQやダイナミクスを個別のライブラリーとして管理していましたが、チャンネルの各種パラメーター (HA設定を含む)をチャンネルライブラリーとしてチャンネル単位で一括して、本体メモリーにストア(保存)/リコール(読み込み)/CLEAR(消去)できるようになりました。

ライブラリーからリコールできる設定の数は、インプット/アウトプットチャンネルライブラリーともに200です。読み込み専用のプリセットはインプット/アウトプットともに000(Initial Data)のみです。

インプット系チャンネルとアウトプット系チャンネルで基本的な操作は同じです。

### チャンネルライブラリーを使う

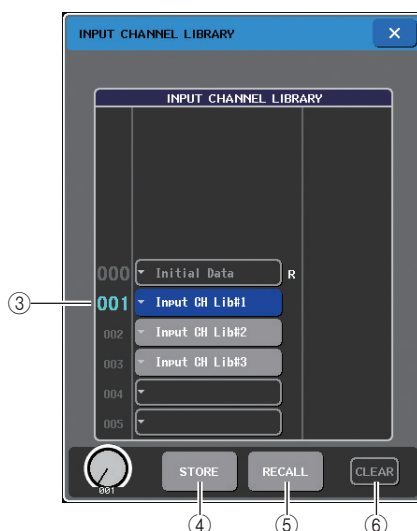
- 1 設定したいチャンネルを[SEL] キーで選択します。
- 2 SELECTED CHANNEL セクションのエンコーダーを押して、SELECTED CHANNEL VIEW画面を表示させます。



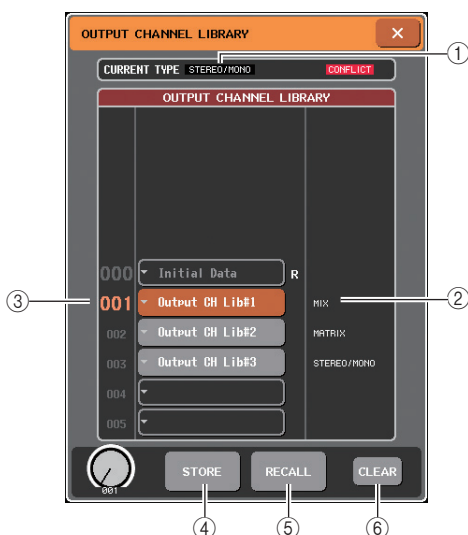
- 3 ツールボタンのLIBRARYを押して、INPUT CHANNEL LIBRARYウィンドウ/OUTPUT CHANNEL LIBRARYウィンドウを表示させます。

ライブラリーのウィンドウに含まれる項目は、次のとおりです。

### [INPUT CHANNEL LIBRARY]



## [OUTPUT CHANNEL LIBRARY]



### ① CURRENT TYPE

(アウトプットチャンネルライブラリーのみ)

[SEL]キーで選択されているチャンネルの種類を表示します。

### ② ライブラリータイプ

(アウトプットチャンネルライブラリーのみ)

リスト内のライブラリーのチャンネルの種類を表示します。



・アウトプットチャンネルライブラリーにおいて、[SEL]キーで選択されているチャンネルとリストで選択されているチャンネルの種類が異なる場合は、CURRENT TYPEの右側に“CONFLICT”と表示されます。“CONFLICT”と表示された場合でもリコールできますが、構成するパラメーターが異なるため、ライブラリーに存在しないパラメーターは、初期値が設定されます。

### ③ ライブラリーリスト

操作対象になるライブラリーを選択します。選ばれているライブラリーは中央に移動し、反転表示されます。

### ④ STOREボタン

現在選択されているチャンネルの設定内容を、リスト内で選ばれている位置にストアします。このボタンを押すと、設定データに名前を付けるLIBRARY STOREウィンドウが表示されます。

### ⑤ RECALLボタン

現在選択されているチャンネルに、リスト内で選ばれている設定データをリコールします。

### ⑥ CLEARボタン

リスト内で選ばれているライブラリーをクリア(消去)します。このボタンを押すと、クリア操作を確認するダイアログが表示されます。

4 いくつかのマルチファンクションエンコーダーを回して、リストの色が反転した列を移動させ、操作対象となるライブラリー番号を選択します。

5 STOREボタン、RECALLボタン、またはCLEARボタンを押します。

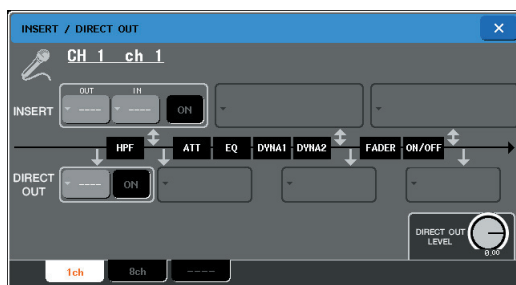
以降の操作は他のライブラリーと共通です。

## NOTE

・チャンネルリンクを組んでいるチャンネルにリコールした場合は、リコールしたチャンネルのリンクが解除されます。

## インサート/ダイレクト出力位置に POST ONを追加

入出力チャンネルのインサート、ダイレクト出力の位置として POST ON(フェーダーと[ON]キーの直後)を選択できるようになりました。



## GEQのインサート設定/解除時のインサート自動オン/オフ

GEQがマウントされたRACKをインサートアウトもしくはインサートインに設定した場合は、自動的にもう一方のパッチも同じRACKに設定されます。同時に、インサートが自動的にオンになるようになりました。また、GEQがマウントされたRACKをインサートアウトもしくはインサートインから解除した場合は、自動的にもう一方のパッチも解除され、同時にインサートが自動的にオフになるようになりました。

## GATEのスレッシュホルドレベル 最小値を変更

インプット系チャンネルのGATEのスレッシュホルドレベル最小値が-72dBまで設定できるようになりました。



## チャンネルリンクのレベル差保持、 一時的な解除

チャンネルリンクを設定すると、HAゲインとフェーダーの操作は、リンクグループのチャンネル間でレベル差を保ったまま連動するようになりました。

### ● 一時的なリンクの解除方法

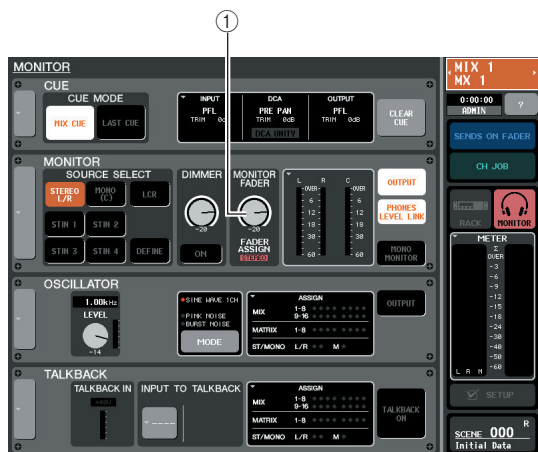
リンクグループに設定されているチャンネル間のレベルバランスを変更するときなど、レベル差を保ったままリンクするパラメーター (HAゲイン、フェーダー) については、リンクするすべてのチャンネルを一時的にリンクグループから解除できます。バランスを取り直したいチャンネルの[SEL]キーを押しながら変更したいパラメーターを操作してください。[SEL]キーを押している間は、HAゲイン、フェーダーはリンクしません (ただし、シーンメモリーのリコールでフェード中の場合は、一時的に解除できません)。

## STEREO/MONO MASTER フェーダーでモニター出力レベル調整

モニター出力レベルコントロールにモニターフェーダーが追加され、STEREO MASTERフェーダー/MONO MASTERフェーダーを使用してレベルを操作できるようになりました。また、MONOチャンネルおよびSTEREOチャンネルの[ON]キーでも、モニター出力のオン/オフを切り換えできるようになりました。

MONITOR画面とMONITORポップアップウィンドウにMONITOR FADERフィールドが追加されました。

### [MONITOR画面]



### [MONITORポップアップウィンドウ]



#### ① MONITOR FADER レベル

現在のモニターフェーダーのレベルが表示されます。

#### ② FADER ASSIGN MODE ボタン

MONITOR ポップアップウィンドウのこのボタンを押すたびに、NONE→STEREO→MONO→NONEの順に切り替わります。

STEREOを選択すると、トップパネルのSTEREO MASTERフェーダーでモニターフェーダーを調節できるようになります。また、STEREO MASTERフェーダー上部の[ON]キーで、モニター出力のオン/オフを切り替えできるようになります。

MONOを選択すると、トップパネルのMONO MASTERフェーダーでモニターフェーダーを調節できるようになります。また、MONO MASTERフェーダー上部の[ON]キーで、モニター出力のオン/オフを切り替えできるようになります。

#### NOTE

- ・モニターフェーダーとMONITOR LEVELノブは直列に配置されています。この機能でモニターレベルを変更しているときでも、トップパネル上のMONITOR LEVELノブは有効です。MONITOR LEVELノブが最小のときは、モニター信号が出力されません。
- ・STEREOチャンネルまたはMONOチャンネルの[ON]キーと、MONITOR画面のOUTPUTボタンは連動します。PHONES OUT端子からは、OUTPUTボタンのオン/オフに関係なく、常にモニター信号が出力されます。
- ・FADER ASSIGN MODEの設定の切り替えをユーザー定義キーに割り当てることも可能です (6 ページ)。
- ・FADER ASSIGN MODEの設定により、ファンクションアクセスエリアのMONITOR ボタンが、STEREOのときは赤、MONOのときは黄色で表示されます。

## グローバルペースト機能で複数のシーンを一括変更

グローバルペーストは、カレントシーンの任意のチャンネル/パラメーターの設定内容を、メモリー内のシーンデータ(複数選択可能)にコピー&ペーストする機能です。カレントシーンの変更内容を、ストア済みの複数のシーンに一括して反映させたいときに便利です。

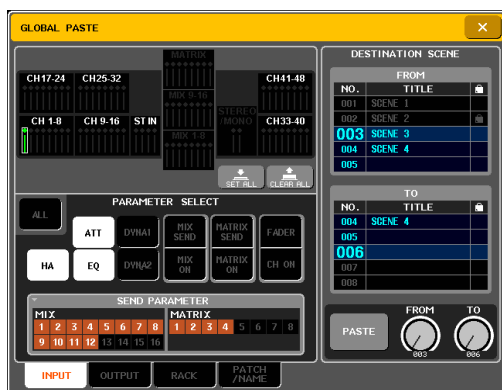
### グローバルペースト機能を利用する

#### NOTE

- ・ユーザーレベルでSCENE LISTのSTORE/SORTがオンになっているユーザーのみ、グローバルペースト機能を利用できます。

- 1 ファンクションアクセスエリアのSCENEフィールドを押して、SCENE LISTウィンドウを表示させます。
- 2 SCENE LISTウィンドウ右下のGLOBAL PASTEボタンを押して、GLOBAL PASTEウィンドウを表示させます。

この画面では、コピー元となるチャンネル/パラメーターと、ペースト先となるシーンデータを選択します。



- 3 タブ使って、コピーの対象となる項目を次の中から選択します。

INPUT	インプット系チャンネルとパラメーター
OUTPUT	アウトプット系チャンネルとパラメーター
RACK	RACK 1～8
PATCH/NAME	インプット/アウトプットパッチ、チャンネル名

- 4 コピー元となるチャンネルやパラメーターを選択します。

表示は、タブの選択によって異なります。  
チャンネルごとに異なるパラメーターを選択することはできません。  
チャンネルを選択するには、トップパネルの[SEL]キーを使います。

### ● INPUTタブ

左上でインプット系チャンネル、左下でそのパラメーターを選択します。

選択可能なパラメーターは、次のとおりです。

ALL	インプット系チャンネルのすべてのパラメーター(INPUT PATCH、INPUT NAMEは除く)
HA	該当するインプット系チャンネルに割り当てられたヘッドアンプの設定
ATT	アッテネーター
EQ	EQの設定
DYNA1	ダイナミクス1の設定(KEY INSOURCE、KEY IN FILTERを含む)
DYNA2	ダイナミクス2の設定(KEY INSOURCEを含む)
MIX ON/SEND	MIXバスへのセンドのオン/オフ、センドレベル、パン、PRE/POST
MTRX ON/SEND	MATRIXバスへのセンドのオン/オフ、センドレベル、パン、PRE/POST
FADER	フェーダーのレベル
CH ON	[ON]キーのオン/オフ状態

### ● OUTPUTタブ

左上でアウトプット系チャンネル、左下でそのパラメーターを選択します。

選択可能なパラメーターは、次のとおりです。

ALL	アウトプット系チャンネルのすべてのパラメーター(OUTPUT PATCH、OUTPUT NAMEは除く)
ATT	アッテネーター
EQ	EQの設定
DYNA1	ダイナミクス1の設定(KEY INSOURCE、KEY IN FILTERを含む)
MATRIX ON	MATRIXバスへのセンドのオン/オフ(MIX、STEREO/MONOチャンネルのみ)
MATRIX SEND	MATRIXバスへのセンドレベル、パン、PRE/POST (MIX、STEREO/MONOチャンネルのみ)
FADER	フェーダーのレベル
CH ON	[ON]キーのオン/オフ状態
WITH MIX SEND	インプット系チャンネルから選択したMIXバスへと送られる信号のセンドレベルをペースト対象に含めるかどうかを選択します。
WITH MATRIX SEND	インプット系チャンネルから選択したMATRIXバスへと送られる信号のセンドレベルをペースト対象に含めるかどうかを選択します。

### ● RACKタブ

RACK 1～8を選択します。

### ● PATCH/NAMEタブ

INPUT PATCH、INPUT NAME、OUTPUT PATCH、OUTPUT NAMEの中から選択します。

- 5 DESTINATION SCENE欄で、ペースト先になるシーンの範囲を選びます。

FROMとTOで選択された範囲のすべてのシーンがペースト対象になります。FROMはマルチファンクションエンコーダー7で選択、TOはマルチファンクションエンコーダー8で選択します。

- 6 PASTEボタンを押します。

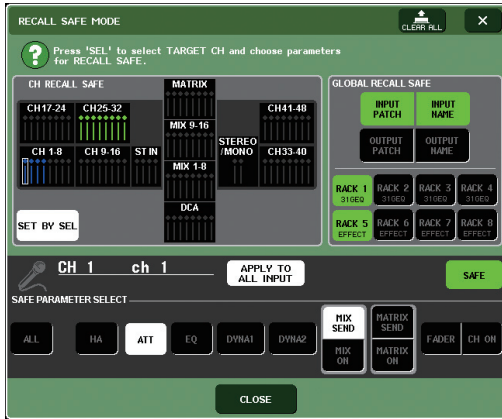
カレントシーンの選択した項目が、メモリー内のシーンにペーストされます。

ペースト実行中は、プログレスバーが表示されます。  
ペースト実行中は、STOPボタンが表示され、ボタンを押すと中止できます。このとき途中でペーストされ、元に戻すことはできません。



## アッテネーターのリコールセーフを独立して設定

アッテネーターのリコールセーフをEQから独立して選択できるようになりました。



また、その他のミキシングパラメーターのステレオ、LINK、RECALL SAFE、USER LEVELの挙動も変更しました。詳しくは付属ブロックダイアグラムの裏の「ミキシングパラメーター動作対象リスト(Mixing parameter operation applicability)」をご覧ください。

## M7CL V2 Editorからユーザー定義キーを設定

M7CL V2 Editorでは、本体と同様にユーザー定義キーの設定ができるようになりました。設定方法について詳細は、M7CL V2 Editor取扱説明書をご参照ください。

## ユーザー定義キーへ割り当て可能な機能を追加

機能	PARAMETER 1	PARAMETER 2	解説
MONITOR ON MASTER (FADER ASSIGN MODE)	STEREO MASTER	LATCH	モニターレベルの操作にSTEREO MASTER フェーダーを使用するかどうかを切り替える
		UNLATCH	押している間、モニターレベルの操作にSTEREO MASTER フェーダーを使用する
	MONO MASTER	LATCH	モニターレベルの操作にMONO MASTER フェーダーを使用するかどうかを切り替える
		UNLATCH	押している間、モニターレベルの操作にMONO MASTER フェーダーを使用する
SENDS ON FADER	MATRIX1-8	—	選択したMATRIXでMATRIX ON FADER 機能オン/オフ切り替え
	MIX ON FADER	—	MIX ON FADER 機能オン/オフ切り替え
	MATRIX ON FADER	—	MATRIX ON FADER 機能オン/オフ切り替え
	SENDS ON FADER	—	SENDS ON FADER 機能オン/オフ切り替え
M7CL EDITOR CONTROL	LIBRARY	INPUT CH	M7CL V2 EditorのLibrary ウィンドウ-INPUT CH タブを開く
		OUTPUT CH	M7CL V2 EditorのLibrary ウィンドウ-OUTPUT CH タブを開く
HOME	SELECTED CH VIEW	—	SELECTED CHANNEL VIEW画面を表示する
	OVERVIEW	—	OVERVIEW画面を表示する
	MOMENTARY	—	押すたびに、SELECTED CHANNEL VIEW画面とOVERVIEW画面を交互に呼び出す

## 作成したデータの互換性

ファームウェア V2.0で作成したデータ(シーン、各種ライブラリー、SETUPなど)をファームウェア V1 (V2.0より前のバージョンをすべて含む)のM7CLにロードすることはできません。ただし、ファームウェア V1 のM7CLで作成したデータは、ファームウェア V2.0のM7CLにロードできます。

持込修理

# 保証書

品名	DIGITAL MIXING CONSOLE		
※品番			
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から1ヶ年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お客様	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="margin: 0 5px;">-</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></div> </div>		
	ご住所		
	お名前		
	電話 ( )		

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。  
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示  
の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>
	所在地	
	電話	

**ヤマハ株式会社 PA・DMI事業部**

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号  
TEL 053-460-2455

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡してください。

## 無償修理規定

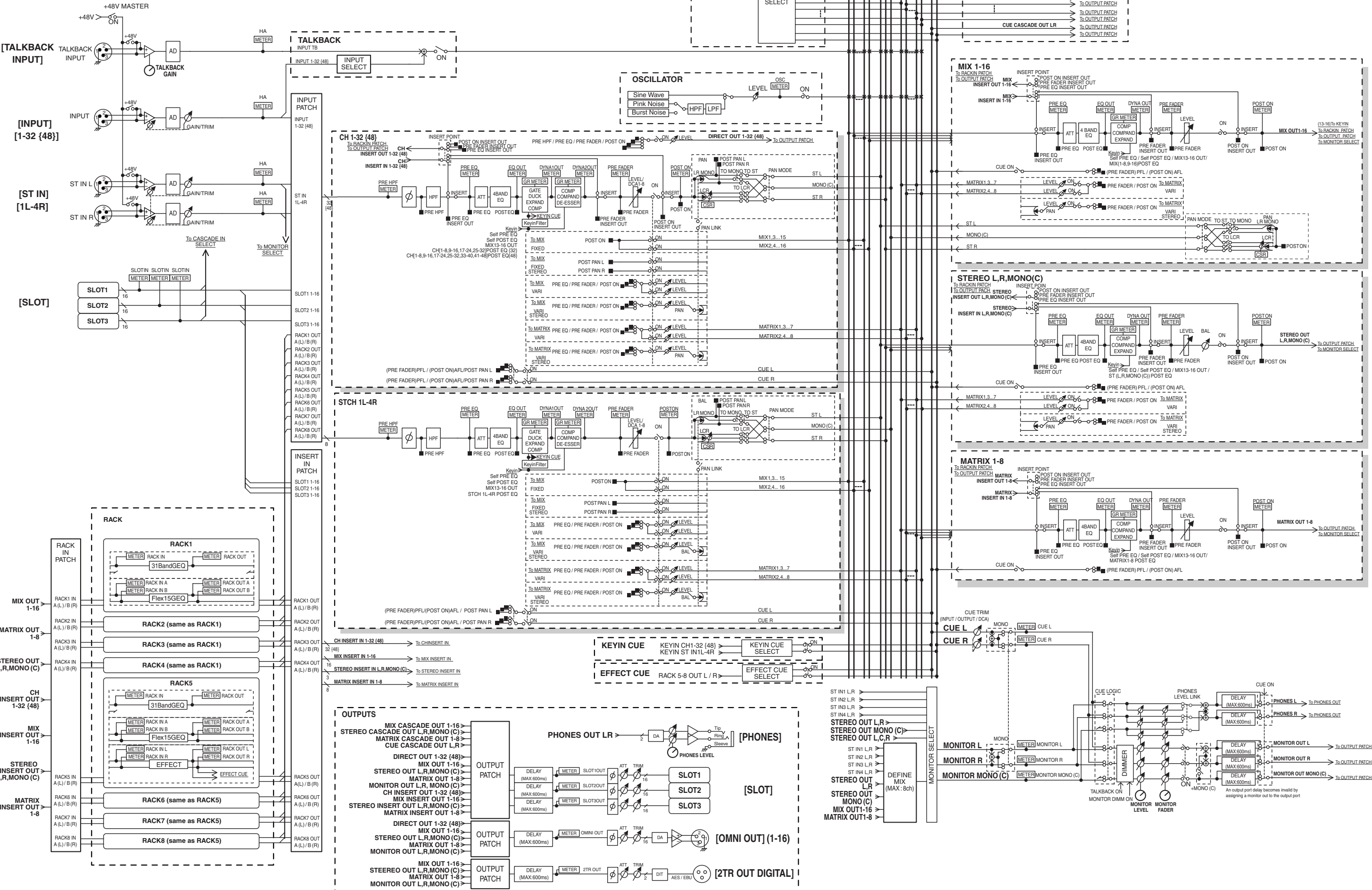
- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、最寄りの※ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

\* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合わせください。

※ ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

## ■ M7CL-48/M7CL-32 V2.0 Block Diagram





Mixing parameter operation applicability

This table indicates how the behaviors of each of the input channel and output channel parameters are affected by Stereo, Link, Recall Safe, and User Level settings.

Input Channels

Parameter		Stereo *1	CHANNEL LINK	RECALL SAFE	USER LEVEL	Channel Library
HA	Gain	O	INPUT HA	INPUT HA	INPUT HA	O
	Phase			INPUT HA	INPUT HA	O
	+48V			INPUT HA	INPUT HA	O
Name, Icon				INPUT NAME	INPUT NAME	O
Insert	On			INPUT ALL	INPUT PROCESSING	O
	Point			INPUT ALL	INPUT PROCESSING	O
Direct Out	On, Level			INPUT ALL	INPUT PROCESSING	O
	Point			INPUT ALL	INPUT PROCESSING	O
Att		O	INPUT EQ	INPUT ATT	INPUT PROCESSING	O
HPF		O	INPUT EQ	INPUT EQ	INPUT PROCESSING	O
EQ		O	INPUT EQ	INPUT EQ	INPUT PROCESSING	O
Dynamics1	Key-In Source			INPUT DYNA1	INPUT PROCESSING	
	Key-In Filter	O	INPUT DYNAMICS1	INPUT DYNA1	INPUT PROCESSING	O
	Others	O	INPUT DYNAMICS1	INPUT DYNA1	INPUT PROCESSING	O
Dynamics2	Key-In Source			INPUT DYNA2	INPUT PROCESSING	
	Others	O	INPUT DYNAMICS2	INPUT DYNA2	INPUT PROCESSING	O
To Mix	On	O	INPUT MIX ON *2	INPUT MIX ON	INPUT FADER/ON *4	O
	Level	O	INPUT MIX SEND *2	INPUT MIX SEND	INPUT FADER/ON *4	O
	Pan/Balance	O		INPUT MIX SEND	INPUT FADER/ON *4	O
	Pre/Post	O	INPUT MIX SEND *2	INPUT MIX SEND	INPUT PROCESSING	O
To Matrix	On	O	INPUT MATRIX ON *3	INPUT MATRIX ON	INPUT FADER/ON *4	O
	Level	O	INPUT MATRIX SEND *3	INPUT MATRIX SEND	INPUT FADER/ON *4	O
	Pan/Balance	O		INPUT MATRIX SEND	INPUT FADER/ON *4	O
	Pre/Post	O	INPUT MATRIX SEND *3	INPUT MATRIX SEND	INPUT PROCESSING	O
To Stereo/ Mono		O		INPUT ALL	INPUT PROCESSING	O
Pan/ Balance		O		INPUT ALL	INPUT FADER/ON	O
LCR	On	O		INPUT ALL	INPUT PROCESSING	O
	CSR	O		INPUT ALL	INPUT PROCESSING	O
On		O	INPUT ON	INPUT ON	INPUT FADER/ON	O
Fader		O	INPUT FADER	INPUT FADER	INPUT FADER/ON	O
Mute Assign		O		INPUT ALL	MUTE GROUP ASSIGN	O
DCA Assign		O		INPUT ALL	DCA GROUP ASSIGN	O
Cue		O				
Mute Safe		O				
Recall Safe		O				
Fade Time, On		O			STORE	O

Mix Channels

Parameter		Linked in stereo mode	RECALL SAFE	USER LEVEL	Channel Library
Name, Icon			OUUTPUT NAME	OUTPUT NAME	O
Insert	On	O	MIX ALL	MIX PROCESSING	O
	Point	O	MIX ALL	MIX PROCESSING	O
Att		O	MIX ATT	MIX PROCESSING	O
EQ		O	MIX EQ	MIX PROCESSING	O
Dynamics1	Key-In Source		MIX DYNA1	MIX PROCESSING	
	Others	O	MIX DYNA1	MIX PROCESSING	O
To Matrix	On	O	MIX to MATRIX ON	MIX FADER/ON *4	O
	Level	O *5	MIX to MATRIX SEND	MIX FADER/ON *4	O
	Pan/Balance	O	MIX to MATRIX SEND	MIX FADER/ON *4	O
	Pre/Post	O	MIX to MATRIX SEND	MIX PROCESSING	O
To Stereo/Mono		O	MIX ALL	MIX PROCESSING	O
Pan/Balance		O	MIX ALL	MIX FADER/ON	O
LCR	On	O	MIX ALL	MIX PROCESSING	O
	CSR	O	MIX ALL	MIX PROCESSING	O
On		O	MIX ON	MIX FADER/ON	O
Fader		O	MIX FADER	MIX FADER/ON	O
From Input	On		WITH MIX SEND	WITH MIX SEND *4	
	Level		WITH MIX SEND	WITH MIX SEND *4	
	Pan		WITH MIX SEND	WITH MIX SEND *4	
	Pre/Post		WITH MIX SEND	WITH MIX SEND *4	
Mute Assign		O	MIX ALL	MUTE ASSIGN	O
Cue		O			
Mute Safe		O			
Recall Safe		O			
Fade Time, On		O		STORE	O

Matrix Channels

Parameter		Linked in stereo mode	RECALL SAFE	USER LEVEL	Channel Library
Name, Icon			OUTPUT NAME	OUTPUT NAME	O
Insert	On	O	MATRIX ALL	MATRIX PROCESSING	O
	Point	O	MATRIX ALL	MATRIX PROCESSING	O
Att		O	MATRIX ATT	MATRIX PROCESSING	O
EQ		O	MATRIX EQ	MATRIX PROCESSING	O
Dynamics1	Key-In Source		MATRIX DYNA1	MATRIX PROCESSING	
	Others	O	MATRIX DYNA1	MATRIX PROCESSING	O
Balance		O	MATRIX ALL	MATRIX FADER/ON	O
On		O	MATRIX ON	MATRIX FADER/ON	O
Fader		O	MATRIX FADER	MATRIX FADER/ON	O
From Input From Mix From Stereo/Mono	On		WITH MATRIX SEND	WITH MATRIX SEND *4	
	Level		WITH MATRIX SEND	WITH MATRIX SEND *4	
	Pan		WITH MATRIX SEND	WITH MATRIX SEND *4	
	Pre/Post		WITH MATRIX SEND	WITH MATRIX SEND *4	
Mute Assign		O	MATRIX ALL	MUTE ASSIGN	O
Cue		O			
Mute Safe		O			
Recall Safe		O			
Fade Time, On		O		STORE	O

STEREO, MONO Channels

Parameter		Linked on the STEREO channel	RECALL SAFE	USER LEVEL	Channel Library
Name, Icon			OUTPUT NAME	OUTPUT NAME	O
Insert	On	O	STEREO, MONO ALL	STEREO, MONO PROCESSING	O
	Point	O	STEREO, MONO ALL	STEREO, MONO PROCESSING	O
Att		O	STEREO, MONO ATT	STEREO, MONO PROCESSING	O
EQ		O	STEREO, MONO EQ	STEREO, MONO PROCESSING	O
Dynamics1	Key-In Source		STEREO, MONO DYNA1	STEREO, MONO PROCESSING	
	Others	O	STEREO, MONO DYNA1	STEREO, MONO PROCESSING	O
To Matrix	On	O	STEREO, MONO to MATRIX ON	STEREO, MONO FADER/ON *4	O
	Level	O *5	STEREO, MONO to MATRIX SEND	STEREO, MONO FADER/ON *4	O
	Pan/Balance	O	STEREO, MONO to MATRIX SEND	STEREO, MONO FADER/ON *4	O
	Pre/Post	O	STEREO, MONO to MATRIX SEND	STEREO, MONO PROCESSING	O
Balance		O	STEREO, MONO ALL	STEREO, MONO FADER/ON	O
On		O	STEREO, MONO ON	STEREO, MONO FADER/ON	O
Fader		O	STEREO, MONO FADER	STEREO, MONO FADER/ON	O
Mute Assign		O	STEREO, MONO ALL	MUTE ASSIGN	O
Cue		O			
Mute Safe		O			
Recall Safe		O			
Fade Time, On		O		STORE	O

DCA

Parameter		RECALL SAFE	USER LEVEL	
Name, Icon		DCA ALL	DCA MASTER ON	
On		DCA LEVEL/ON	DCA MASTER ON	
Fader		DCA LEVEL/ON	DCA MASTER ON	
Fade Time, On			STORE	

\*1Linked parameters on ST IN Channels 1-4.  
\*2Applies to parameters for which the MIX channel 1\_16 individual Send Parameter setting and the item in the table are both enabled.  
\*3Applies to parameters for which the MATRIX channel 1\_8 individual Send Parameter setting and the item in the table are both enabled.  
\*4User operation is allowed if the send-source channel’s “FADER/ON” is ON and the send-destination channel’s “WITH SEND” is ON.  
\*5Linked if the send-destination channel is Stereo.

# ヤマハ株式会社

ヤマハ プロオーディオウェブサイト：  
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー：  
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation  
© 2009 Yamaha Corporation

WS66150 906PO?????-01A0  
Printed in Japan